

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社トウペ

コード番号 4614 URL <http://www.tohpe.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 加東 保

TEL 072-243-6411

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 ー

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	10,821	△11.0	△69	—	△160	—	△252	—
21年3月期第3四半期	12,162	—	△625	—	△673	—	△747	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△9.56	—
21年3月期第3四半期	△28.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	15,916	1,477	8.9	46.12
21年3月期	13,919	1,136	7.7	41.39

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,423百万円 21年3月期 1,071百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	0.0	20	0.0	△105	—	△190	—	△7.21

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	31,000,000株	21年3月期	26,000,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	141,527株	21年3月期	135,720株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	26,360,896株	21年3月期第3四半期	25,871,955株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想数値と異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界金融危機をきっかけとした景気低迷に一部回復の兆しは見られるものの、円高の影響による設備投資の抑制やデフレ傾向などにより、先行き予断を許さない状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは平成21年5月15日に発表いたしました「経営改善計画」に基づき、コストの削減、販売製品の見直しによる収益性重視の営業展開を引続き行いました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は10,821百万円(前年同四半期比11.0%減)に留まりました。一方、利益面では「経営改善計画」の施策が段階的に寄与してきており、第3四半期会計期間においては、営業利益及び経常利益をともに計上いたしましたが、第1四半期の損失を吸収するまでに至らず、営業損益は69百万円の損失(前年同四半期は625百万円の損失)、経常損益は160百万円の損失(前年同四半期は673百万円の損失)、四半期純損益は252百万円の損失(前年同四半期は747百万円の損失)となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりです。

①塗料事業

工業用塗料分野・汎用塗料分野ともに需要の低迷が続き、塗料事業の売上高は8,623百万円(前年同四半期比11.8%減)となりましたが、営業損益は「経営改善計画」の施策の段階的寄与により78百万円の損失(前年同四半期は506百万円の損失)となりました。

②化成品事業

自動車関連用アクリルゴムの海外需要が持ち直してきており、化成品事業の売上高は2,198百万円(前年同四半期比7.8%減)となり、生産ラインの見直しによるコストの低減等により営業利益は345百万円(前年同四半期比44.0%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,997百万円増加し15,916百万円となりました。資産の増加は、主に割引手形の減少による受取手形の増加によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ1,656百万円増加し14,439百万円となりました。負債の増加は、主に短期借入金の増加によるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて340百万円増加し1,477百万円となりました。純資産の増加は、主に株式の発行による資本金及び資本準備金の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における実績を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年11月12日発表いたしました平成22年3月期通期連結・個別業績予想を修正いたしました。詳しくは本日別途発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①時価のある有価証券の評価方法の変更

その他有価証券のうち時価のあるものについては、従来、四半期連結会計期間末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっておりましたが、平成21年12月に当社が古河機械金属株式会社の子会社となり、親子会社間の会計処理の統一を図るため、当第3四半期連結会計期間より四半期連結会計期間末日前1ヶ月の市場価格等の平均に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)に変更しております。

なお、この変更による第2四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

②完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過去2連結会計年度において営業損失およびマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においても営業損失およびマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しておりますが、当第3四半期連結会計期間におきましては、マイナスの営業キャッシュ・フローを計上する結果にはなりませんでしたものの営業損益につきましては利益を計上し改善が進んでおります。

当社グループといたしましては、平成21年5月15日策定の「経営改善計画」に基づき、引き続き主に次の諸策を実施中であります。

- ① 生産の合理化（生産の集約、調色体制の見直し、コストカット）
- ② 継続再雇用制度の凍結
- ③ 販売の強化（主力販売製品の見直し、新製品の販売、組織の見直し）

加えて、古河機械金属株式会社を割当先とする第三者割当増資他、財務基盤の改善を行っております。

以上の結果、当社グループの将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消されているものと判断しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	993,780	611,451
受取手形及び売掛金	5,069,806	3,609,121
有価証券	10,690	10,690
商品及び製品	1,477,293	1,577,809
仕掛品	257,765	259,460
原材料及び貯蔵品	371,253	290,303
その他	198,260	186,504
貸倒引当金	△44,812	△43,246
流動資産合計	8,334,035	6,502,092
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,045,815	4,062,235
その他(純額)	1,953,880	1,987,421
有形固定資産合計	5,999,695	6,049,656
無形固定資産		
投資その他の資産	40,937	31,462
投資有価証券	1,417,907	1,240,929
その他	508,451	420,445
貸倒引当金	△385,498	△325,691
投資その他の資産合計	1,540,860	1,335,683
固定資産合計	7,581,492	7,416,801
資産合計	15,915,527	13,918,893
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,108,118	4,968,876
短期借入金	3,310,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,262,701	1,472,083
未払法人税等	21,722	21,565
その他	1,048,792	961,273
流動負債合計	10,751,333	8,123,797
固定負債		
長期借入金	1,748,012	2,671,188
繰延税金負債	1,231,807	1,194,790
再評価に係る繰延税金負債	125,727	132,263
退職給付引当金	578,358	655,807
その他	3,717	4,833
固定負債合計	3,687,621	4,658,881
負債合計	14,438,954	12,782,678

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,309,843	2,087,343
資本剰余金	222,500	—
利益剰余金	△1,239,521	△996,949
自己株式	△18,420	△17,899
株主資本合計	1,274,402	1,072,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	53,067	△104,769
土地再評価差額金	172,137	181,543
為替換算調整勘定	△76,335	△78,722
評価・換算差額等合計	148,869	△1,948
少数株主持分	53,302	65,668
純資産合計	1,476,573	1,136,215
負債純資産合計	15,915,527	13,918,893

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,161,533	10,821,172
売上原価	10,386,886	8,789,674
売上総利益	1,774,647	2,031,498
販売費及び一般管理費	2,399,280	2,100,374
営業損失(△)	△624,633	△68,876
営業外収益		
受取利息	810	542
受取配当金	27,609	18,025
持分法による投資利益	7,583	15,994
雑収入	30,216	32,525
営業外収益合計	66,218	67,086
営業外費用		
支払利息	82,393	114,383
手形売却損	11,819	9,916
雑損失	20,504	34,245
営業外費用合計	114,716	158,544
経常損失(△)	△673,131	△160,334
特別損失		
貸倒引当金繰入額	3,000	41,000
投資有価証券評価損	13,675	25,975
事業構造改善費用	—	12,647
固定資産除却損	15,203	6,130
固定資産売却損	—	3,037
特別損失合計	31,878	88,789
税金等調整前四半期純損失(△)	△705,009	△249,123
法人税、住民税及び事業税	33,238	19,693
法人税等調整額	1,099	△6,044
法人税等合計	34,337	13,649
少数株主利益又は少数株主損失(△)	7,257	△10,812
四半期純損失(△)	△746,603	△251,960

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	3,791,175	3,731,010
売上原価	3,289,131	3,014,267
売上総利益	502,044	716,743
販売費及び一般管理費	784,791	668,158
営業利益又は営業損失(△)	△282,747	48,585
営業外収益		
受取利息	120	65
受取配当金	6,355	1,770
持分法による投資利益	1,886	5,421
受取賃貸料	—	3,362
雑収入	7,065	3,577
営業外収益合計	15,426	14,195
営業外費用		
支払利息	34,628	37,702
手形売却損	3,896	3,399
支払手数料	—	17,100
雑損失	1,883	3,501
営業外費用合計	40,407	61,702
経常利益又は経常損失(△)	△307,728	1,078
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	41,000
投資有価証券評価損	12,103	25,975
事業構造改善費用	—	4,168
固定資産除却損	—	17
特別損失合計	12,103	71,160
税金等調整前四半期純損失(△)	△319,831	△70,082
法人税、住民税及び事業税	△2,945	1,823
法人税等調整額	271	—
法人税等合計	△2,674	1,823
少数株主損失(△)	△3,150	△14,617
四半期純損失(△)	△314,007	△57,288

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△705,009	△249,123
減価償却費	193,027	193,481
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△114	61,373
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△90,657	△77,449
受取利息及び受取配当金	△28,419	△18,567
支払利息	82,393	114,383
事業構造改善費用	—	12,647
固定資産除却損	15,203	6,130
固定資産売却損益(△は益)	—	3,037
投資有価証券評価損益(△は益)	13,675	25,975
持分法による投資損益(△は益)	△7,583	△15,994
売上債権の増減額(△は増加)	△179,942	△1,460,685
たな卸資産の増減額(△は増加)	△355,967	21,261
仕入債務の増減額(△は減少)	416,226	185,219
その他	△118,722	△32,143
小計	△765,889	△1,230,455
利息及び配当金の受取額	53,475	28,935
利息の支払額	△75,892	△111,337
法人税等の支払額	△25,827	△23,929
営業活動によるキャッシュ・フロー	△814,133	△1,336,786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△471,414	△192,661
無形固定資産の取得による支出	△13,587	△13,430
固定資産の売却による収入	—	15,486
その他の収入	—	10,800
その他の支出	△2,237	△10,968
投資活動によるキャッシュ・フロー	△487,238	△190,773
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250,000	2,610,000
長期借入れによる収入	1,950,000	—
長期借入金の返済による支出	△921,304	△1,132,558
株式の発行による収入	—	445,000
その他の支出	△1,664	△12,554
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,277,032	1,909,888
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,339	382,329
現金及び現金同等物の期首残高	825,513	622,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	801,174	1,004,470

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	塗料事業 (千円)	化成品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,184,770	606,405	3,791,175	—	3,791,175
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	3,184,770	606,405	3,791,175	(—)	3,791,175
営業利益又は営業損失(△)	△179,348	12,970	△166,378	(116,369)	△282,747

(注) 1 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、用途の違いにより塗料事業と化成品事業に区分しております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
塗料事業	建築、鉄材構造物、車両、建設資材、機械金属、皮革、道路標示用等各種塗料塗装工事請負、塗料関連設備機器
化成品事業	アクリルゴム、接着剤

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	塗料事業 (千円)	化成品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,888,354	842,656	3,731,010	—	3,731,010
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	2,888,354	842,656	3,731,010	(—)	3,731,010
営業利益	74,638	86,469	161,107	(112,522)	48,585

(注) 1 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、用途の違いにより塗料事業と化成品事業に区分しております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
塗料事業	建築、鉄材構造物、車両、建設資材、機械金属、皮革、道路標示用等各種塗料塗装工事請負、塗料関連設備機器
化成品事業	アクリルゴム、接着剤

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	塗料事業 (千円)	化成品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,776,376	2,385,157	12,161,533	—	12,161,533
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	9,776,376	2,385,157	12,161,533	(—)	12,161,533
営業利益又は営業損失(△)	△505,995	239,335	△266,660	(357,973)	△624,633

(注) 1 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、用途の違いにより塗料事業と化成品事業に区分しております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
塗料事業	建築、鉄材構造物、車両、建設資材、機械金属、皮革、道路標示用等各種塗料塗装工事請負、塗料関連設備機器
化成品事業	アクリルゴム、接着剤

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	塗料事業 (千円)	化成品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,622,793	2,198,379	10,821,172	—	10,821,172
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	8,622,793	2,198,379	10,821,172	(—)	10,821,172
営業利益又は営業損失(△)	△77,513	344,707	267,194	(336,070)	△68,876

(注) 1 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、用途の違いにより塗料事業と化成品事業に区分しております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
塗料事業	建築、鉄材構造物、車両、建設資材、機械金属、皮革、道路標示用等各種塗料塗装工事請負、塗料関連設備機器
化成品事業	アクリルゴム、接着剤

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア地域 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)
I 海外売上高	309,600	5,300	314,900
II 連結売上高	—	—	3,791,175
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.2	0.1	8.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア地域・・・・・・韓国、台湾

(2) その他の地域・・・・・・イタリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア地域 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)
I 海外売上高	477,129	12,448	489,577
II 連結売上高	—	—	3,731,010
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.8	0.3	13.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア地域・・・・・・韓国、台湾

(2) その他の地域・・・・・・ドイツ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア地域 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)
I 海外売上高	1,228,600	57,300	1,285,900
II 連結売上高	—	—	12,161,533
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.1	0.5	10.6

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア地域・・・・・・韓国、台湾
 (2) その他の地域・・・・・・イタリア
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア地域 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)
I 海外売上高	1,246,529	24,548	1,271,077
II 連結売上高	—	—	10,821,172
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.5	0.2	11.7

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア地域・・・・・・韓国、台湾
 (2) その他の地域・・・・・・ドイツ
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年12月1日付けで、古河機械金属株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が223百万円、資本準備金が223百万円増加し、当第3四半期連結累計期間末において資本金が2,310百万円、資本剰余金が223百万円となっております。